

新潟医療福祉学会は、保健、医療、福祉およびスポーツに関する研究を推進し、関連領域の学際的交流に努め、会員相互の親睦を図り、もって地域の保健、医療、福祉およびスポーツの向上発展に寄与することを目的としています。すなわち、特定の職種のみを対象とするのではなく、保健、医療、福祉、スポーツに関連した全ての職種の人たちを対象として「チーム医療」や「多職種連携教育」を推進するための学会であるということが特色です。

本年度は「チーム医療・多職種連携に求められる人材育成と医工連携」というテーマで医工連携に焦点をあて、チーム医療をはじめとした多職種連携に求められる人材育成について議論できる場にしたいと考えました。そこで、会員の皆様からの研究発表に加えて、特別講演では東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション医工学分野の出江紳一教授をお招きし、「医工連携とリハビリテーション」というテーマでご講演頂きます。出江先生は、医工学研究科と医学系研究科という2つの大学院にまたがって学際研究に取り組むユニークな組織の教授であり、精神・身体機能、生活活動、および社会参加上の障害を予防・最小化するための医学・工学の融合技術を研究し、その成果を社会に還元されている第一人者の研究者です。また、シンポジウムでは「医療・福祉・工学分野における学際的な人材育成モデルの構築に向けて（厚生労働科学研究費・障害者政策総合研究事業との共催）」というテーマで、原陽介先生（東北大学医学部、医師、株式会社 LIFE TODEI 代表取締役）、井上剛伸先生（国立障害者リハビリテーションセンター、福祉機器開発部・研究部長）、浅川育世先生（茨城県立医療大学、教授・理学療法士、附属病院リハビリテーション部長）、田上未来先生（厚生労働省、福祉工学専門官）をお招きし、それぞれのお立場からご講演または指定発言を頂く予定です。本学術集会が地域社会や臨床現場で求められている人材を育成するための多職種連携教育を更に発展させるきっかけになることを期待しています。

昨年から引き続き新型コロナウイルス感染症の収束の目処がたっておりません。そのため、皆様の安全と健康を第一に考え、本年度もオンライン開催にさせていただきますが、本学術集会の趣旨にご賛同頂き、ご支援並びにご高配を賜りたくお願い申し上げますとともに、多くの皆様のご参加をお待ち致しております。

2021 年 5 月吉日

第 21 回新潟医療福祉学会学術集会

大会長 大西 秀明